

平成 28 年 4 月 8 日

各 位

特定非営利活動法人
国際生命科学研究機構
理事長 安川 拓次

「生物多様性影響評価のあり方に関する公開ワークショップ」の ご案内

拝啓 陽春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

カルタヘナ法制定から 13 年が経ち、我が国では、生物多様性影響評価についてかなりの知見が蓄積されてまいりました。しかし、これからは多様な形質を持つ遺伝子組換え植物の開発が進み、こうした多様化する遺伝子組換え植物の生物多様性影響評価の在り方を考える時期が来ております。そこで、添付のとおり、5 月 19 日に「生物多様性影響評価のあり方に関する公開ワークショップ」を開催することとなりましたのでご案内申し上げます。今回は、我が国の生物多様性影響評価手法や事例を振り返ると共に、海外における生物多様性影響評価手法や事例と比較し、Assessment Endpoints を明確にし、そのために必要な評価項目を科学的に精査し今後の生物多様性影響評価の在り方を探ります。また、パネルディスカッションでは、ケーススタディーを踏まえた具体的な討論を予定しており、産官学のそれぞれの立場から、最新の情報提供と活発な意見交換がなされるものと期待しております。

各位におかれましては、万障お繰り合わせの上ご参加いただければ幸いです。参加ご希望の方は、下記のフォームにてお申し込みをお願いいたします。なお、会場の都合上、お申し込み受付は先着 120 名で締め切らせていただきます。また、昼食はご用意いたしませんので、ご持参頂くか、お近くのレストラン等をご利用下さい。会場のお席で召し上がることも可能です。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

生物多様性影響評価のあり方に関する公開ワークショップ

日時： 2016年5月19日(木) 10:00 – 17:20

場所： ベルサール東京日本橋
〒103-0027
東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 5階 Room 4,5
Tel: 03-3510-9236
http://www.bellesalle.co.jp/room/bs_nihonbashi/access.html

主催：ILSI Japan バイオテクノロジー研究部会

共催：

- ILSI CERA
- 筑波大学遺伝子実験センター「形質転換植物デザイン研究拠点」
- 日本学術振興会 160 委員会
- 日本学術振興会 178 委員会

プログラム： 添付参照 (同時通訳付き)

参加費： 無料

懇親会： 17:30~19:30 (会費制:3,000円) 同ビル内

申込み方法： 添付の申込用紙にご記入の上、Eメールまたは Fax にて ILSI Japan 宛
お申込み下さい。後ほど、参加確認のメールをお送りします。

申込み締切： 平成 28 年 5 月 10 日(火)

定員： 120 名 (先着順ですので、お早めにお申し込みをお願いいたします。)

特定非営利活動法人国際生命科学研究機構(ILSI Japan)
〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-5-19 にしかわビル 5階
Tel: 03-5215-3535 Fax: 03-5215-3537 E-mail: ilsijapan@ilsijapan.org

What are assessment endpoints in ERA of GMO?

On May 19 at Bellesalle Tokyo Nihonbashi, Tokyo, Japan

Agenda

- | | |
|-------------|---|
| 10:00-10:10 | Opening remarks ILSI Japan |
| 10:10-10:20 | Purpose of the workshop, definition of protection goals and assessment endpoints Dr. Ryo Ohsawa, (Tsukuba University, Japan) |
| 10:20-10:50 | Application of Problem Formulation to define assessment endpoints for GM crops Dr. Andrew Roberts (ILSI CERA, US) |
| 10:50-11:15 | Assessment endpoints in Japanese guidelines Dr. Akihiro Hino (Chair of MAFF/MOE subcommittee, Japan) |
| 11:15-11:40 | Assessment endpoints in Australia TBD |
| 11:40-12:05 | Assessment endpoints in the US Dr. Andrew Roberts (ILSI CERA, US) |
| 12:05-13:00 | Lunch |
| 13:00-13:30 | Corn Breeding: Insight on biology and domestication for ERA Dr. Linda Pollack (Windy Acres Genetics, Retired Research Geneticist from USDA's Agricultural Research Service, US) |
| 13:30-14:10 | What are weed characteristics and what need to be evaluated for weediness? Dr. Ayako Shimono (Toho University, Japan) |

- 14:10-14:50 **What is allelopathy and what need to be evaluated for allelopathy?.**
Dr. Yasuhiro Yogo (National Agriculture and Food Research Organization, Japan)
- 14:50-15:20 **Comparison of confined field tests for GM crops between Japan and US**
Dr. Shuichi Nakai (ILSI Japan, Japan)
- 15:20-15:40 **Break**
- 15:40-17:10 **Panel discussion**
Moderator : Dr. Ryo Ohsawa (Tsukuba University, Japan)
All speakers
Comparison of assessment endpoints in Japan, Australia, Canada and the US reported today
ILSI Japan
- 17:10-17:20 **Closing Remarks**
Dr. Kenichi Hayashi (Emeritus Member of Advisory Council of ILSI CERA, Japan)
- 17:30-19:30 **Reception**

ベルサール東京日本橋地図



① のベルサール東京日本橋です。

〒103-0027

東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー5階 Room 4,5

現地連絡先：03-3510-9236

- ・ 「日本橋駅」B6番出口直結(銀座線・東西線・浅草線)
- ・ 「東京駅」八重洲北口より徒歩6分
- ・ 「三越前駅」B6出口徒歩3分(銀座線・半蔵門線)

ILSI Japan 事務局行

(Eメール: ilsijapan@ilsijapan.org / Fax: 03-5215-3537)

「生物多様性影響評価のあり方に関する公開ワークショップ」

参加申込書

2016年5月19日(木)10:00~17:20

於:ベルサール東京日本橋

勤務先 (日本語)

(英語)

所属部署 (日本語)

(英語)

氏名 (日本語)

(英語)

連絡先 TEL: _____

FAX: _____

E-mail: _____

懇親会に: 参加する 参加しない
(どちらかに○をお付け下さい)